

# 永藤市長の市民サービス削減に、議会がNO!

## おでかけ応援バスの削減

否決!!

高齢者が100円でバスに乗れる「おでかけ応援バス」の対象を「65歳以上→70歳以上」へと対象範囲の削減案が、**反対多数で否決**されました。賛成したのは維新だけ。高齢者のおでかけを促進し、**地域での消費の活性化(=税収増)、高齢者の健康づくり(=医療・介護費の削減)にもつながる波及効果の大きい施策**です。そもそも永藤市長は、この制度を「**拡充する**」と言って当選したのです。「公約違反の疑いは晴れない。誰が何と言おうと私たちは削減を認めない」、そんな議会の強い意思を示す否決となりました。



## 日高少年自然の家の廃止

会期延長

堺っ子の臨海学校などで40年以上使われてきた、和歌山にある「堺市立日高少年自然の家」の廃止案が議会に出されました。年間5000万円を超える管理料負担をなくすためのようです。しかし、廃止後に

どうするかは未定。売却、譲渡、解体という選択肢があるようですが、**解体には10億円ほどかかるとも**。市民にも議会にも**説明不足の上、計画性のない廃止に批判が続出**。様々な議論を経て、この件については会期を延長し、越年で引き続き議論するという異例の展開になりました。

## 泉北高速通学定期補助の廃止

次の議会で

泉北高速の通学定期補助金も廃止の方向。理由は「泉北ニュータウンの人口が減っているから」。若年世代の人口誘因が制度の狙いですが、「その効果が出ていないから廃止」と言うのです。**人口の増減は様々な条件によるもの**。どうして安易に「効果がない」と断じられるのでしょうか。制度の廃止で、割高感が増す泉北高速。**更なる人口減の原因にならないか**。厳しい批判も出たこの廃止方針。2月の予算議会で引き続き議論され、その結論が出ます。



## 堺創志会から永藤市長に60項目の予算要望 (以下抜粋)

- コロナ第6波に備えた保健体制の拡充
- コロナで打撃を受けた文化活動への支援
- ビッグデータを活用した効果的資源投入
- ロスジェネ世代の就労支援
- ゼロエネルギーハウスへの補助の拡充
- シェアサイクルのポート増設
- 公園へのドッグラン設置
- 保健師の増員と地域福祉活動の拡充
- 難病患者の就労支援
- 障がいのある方の暮らしの場の拡充
- 中学校の少人数(35人)学級推進
- ネットいじめ防止プログラムの拡充
- 給食での堺産食材、有機食材の活用、低アレルゲンメニューの導入 等々



ご意見をお寄せください! FAX: 072-320-0103  
Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前: \_\_\_\_\_ お電話番号: \_\_\_\_\_

ご住所: \_\_\_\_\_

※匿名でも結構ですが、ご連絡先を頂けましたら、心を込めてお返事します。政治家は心が原動力ですから。

## フッチーのつぶやき (編集後記)

鬼滅の刃ブームに乗って、昨年の新春号に散りばめた10カ所の「便乗」。探すために「高校生の息子が初めて政治ビラを読んだ」「孫と楽しく探した」等の嬉しい声も。そこでアニメ放送を記念して、待望(?)の第2弾! 今回は15カ所の便乗です。ぜひ探してみてください!



# ふちがみ猛志 議会活動報告 27

活動情報発信中!

LINE@ はじめました。 LINE@ @os27708b

HP QRコード

Twitter QRコード

ふちがみ猛志 市政相談所  
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1  
TEL/FAX: 072-320-0103  
takeshi@fuchigami.info

- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻 娘12才 息子9才6才
- 堺市議会議員(2期目)
- 文教委員会委員長
- 保護司
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒

ふちがみ猛志 検索



## 2022年 寒中お見舞い申し上げます

### 2022年 2期目の最終年へ

2022年が幕を開けました。長く続いたコロナ禍から脱却していく、飛躍の1年にしたいものです。地方自治体の権限、財源は限られていますが、その分、**国よりもずっと身近な存在**です。とりわけコロナで困っている人たちに寄り添いながら、的確な施策の実行につなげて参ります。私の2期目も、**この春には「残り1年」と**なります。引き続き、心を燃やして頑張る参ります。



### 市長の改革案に次々厳しい意見

11月議会は**大荒れ**でした。8月に「財政危機脱却プラン」を示した永藤市長ですが、その内容に異論が噴出しました(詳細は最終ページ)。中でも**厳しい声が上がったのが、おでかけ応援バスの削減**です。今の堺市の財政が「危機」と言えるレベルかどうかはさておき、財政が「厳しい」のは間違いありませんし、

常に政策の見直しは必要です。**ただし、市民ニーズが特に高いもの、税収増や支出の削減などの波及効果のあるものは、堅持すべき**です。

### 市民との対話が基本

できるできないじゃない。やらなきゃいけないことがある。それは**市民との対話**です。永藤市政はそれが決定的に不足していると、私は感じています。たとえば、おでかけ応援バスの削減は、市民の意見を募るパブリックコメントの実施中(※切前)に、内部で決定し、それが議会に示されました。「市民の声がどうあれ、方針は変わらない。聞く気はない」ということなのでしょう。堺市に暮らす**多様な市民の多様な声**をどれだけ聞けるか。政策は実現できないこともありますが、対話はできるはず。議員の1人として私自身はそれをしっかりと実践して参ります。



## あっちこっちふっちゃん! SAKAIトーク! テーマ 「1年の活動の成果と、堺市の令和4年度予算」

オンライン(zoom)市政報告会を、下記日程で開催します。15名程度を目安に気軽に意見交換できる場にしたいと思います。参加ご希望の方は、①参加希望日、②お名前、③ご住所、④お電話番号をご記入の上、takeshi@fuchigami.info (QRコード↓)にメールを送ってください。zoomの利用方法がわからない方は遠慮なくその旨ご連絡ください。実際にお会いしての会は、感染状況を見極めながら別途企画させていただきます。

【開催日時】 ※各回約1時間、私の報告内容は同じです。参加希望が多ければ日程を追加します。  
3月13日(日)19時〜/3月23日(水)19時〜/3月26日(土)15時〜



# 大小路交差点の大改造計画 便利？ 迷惑？

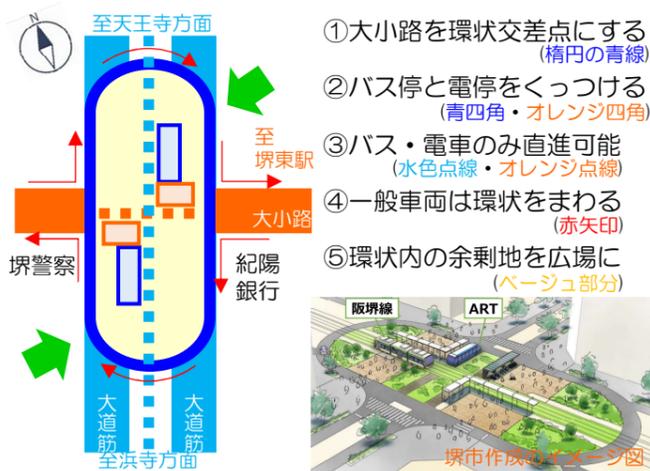
## 20億円超のSMIプロジェクト

20億円超の公的資金を投じ、堺駅～堺駅間のシャトルバスに代わって自動運転バスを走らせた上、大小路交差点を改造することを目玉にした、市長肝いりのSMI(サカイモビリティイノベーション)プロジェクト。前号の議会活動報告では主に自動運転の問題点を指摘。11月議会でも再びこれを取り上げ、交差点の改造を中心に質疑しました。



## 永藤市長が目指す大小路交差点の改造

大小路交差点の改造計画の内容は下記の通りです。



大小路は直進不可、大道筋は三車線から一車線に(緑矢印部分)。膨大な予算に加え、渋滞が懸念されます。

## この計画は誰が望んでいるのか？

「市民ニーズはあるのか?」。私の問いに当局は「市政アンケートで乗り降りのバリアフリー化、乗り換えの利便性向上を望む声がある」と答弁。自動運転でバス停にぴったりつけられることで前者、バス停と電停をくっつけることで後者のニーズにかなうと言うのです。しかし「そのニーズはシャトルバスについてのものか?」と問うと、「公共交通全体に関するもの」と答弁。つまり、「シャトルバスに対するニーズではない」と認めたのでした。



## バス交通のニーズを知るのは誰か？

市民(バス利用者)ニーズを一番把握しているのは、運行事業者です。たくさんの利用者のたくさんの声を直接収集しているからです。しかし、堺市はそんな

情報すら、南海バスから事前ヒアリングすることもなく、この計画を独自に作ってしまいました。南海バスに寄せられる利用者の声のうち、シャトルバスに関するものはごくごくわずかだそうで、それは「不満がない(少ない)」証です。行政が対処すべきバス交通の課題は多いのに、行政が「不満がない路線」に真っ先に大金を投じる必要があるのでしょうか。ド派手に行けばいいというものではありません。

## 乗り換え需要を独自調査

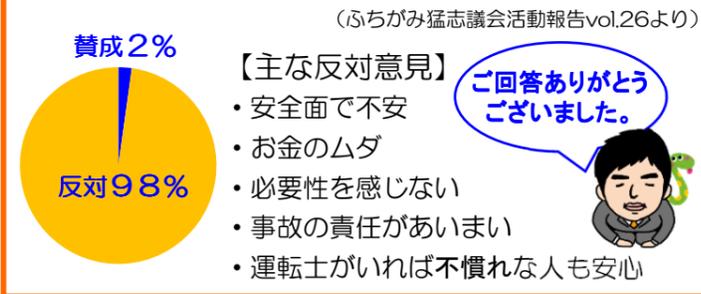
私は平日のラッシュ時間に乗り換え需要を調査しました。シャトルバス16本、阪堺電車8本を実際に見て、相互で乗り換えた人は、なんとゼロ。バス停と電停はわずか50mほどの距離。これをくっつけたところで、乗り換える人が増えて周辺が賑わうなど、到底思えません。



## ありきではないとの答弁

SMIプロジェクトの中には、バスや路面電車の接近で信号をコントロールするシステムや、広い歩道を使った賑わい空間の創出、運賃のQRコード決済等、賛同できるものもあります。ただ、目玉の2つには納得いきません。「SMIプロジェクトは、自動運転バスありき、大小路交差点の改造ありきなのか?」と厳しく問い、当局は「市民の理解を求めていく」としつつも、その2つに「捉われることなく」と答弁。「ありきではない」という姿勢を示したのです。その上で私は「ゼロベースで、事業者、市民との対話からやり直しを」と強く求めました。

## 大小路への自動運転バス導入についてのアンケート結果



では、大小路交差点の改造はどうですか？ 賛否とその理由をお聞かせください！

Mail: takeshi@fuchigami.info (QRコード→)  
 FAX: 072-320-0103



# 古墳の豊かな自然を守ろう

「古墳はただの森にしか見えない」と言われますが、履中天皇陵は広い水面と、大きな墳丘を一望できます。色とりどりの野鳥がやってくる豊かな自然で、堺市は「生物多様性を保全する上での重要な拠点」と認識。しかし宮内庁(管理者)は自然保護を担う行政機関ではなく、責任ある堺市の



積極的関与が求められます。宮内庁とこのテーマでやり取りしたのは、もう10年近く前。環境保全のために宮内庁との連携を求めました。

## 「子どもの権利」をどう具現化するか

行政には計画策定や、進捗チェックのために多くの審議会があり、大学教授等の有識者の他、障がい関連の審議会には障がい者、高齢者関連の審議会には高齢者等、多くの当事者が委員に任命されています。「ならば、子ども施策の審議会には、子どもを委員に」と求めました。高校生なら十分に務まる子もいます。日本が批准する子どもの権利条約には、子どもが自分に係ることに意見できる権利が規定されています。

それを具現化する他市の取り組みも紹介。市長は子ども委員の任命について「可能」との見解を示しました。



## 【子どもの意見表明権を具現化する他市事例】

札幌市	子どもの権利委員会の委員に高校生を選任
川崎市	子ども会議を設置し、意見を市政に反映
名古屋市	子ども施策の総合計画に「子どもの意見を反映させるように」との努力規定あり
明石市	子ども総合支援条例の制定にあたり、小・中・高校で子どもの意見を聴取

他市で多く見られる「子どもの権利条例」すら、堺市にはない。制定が必要!

## 議会の外でも、小さなことからコツコツと。

